

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 22日

事業所名 認定NPO法人 ニコちゃんの会

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	2	2	様々な活動に合わせた環境設定をして	狭い空間なので、移転も考慮している
	2	職員の配置数は適切である	10	1	2	個々への対応を考え、配置している	少し多い時があるので再度検討していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	1	1	適切である	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	2	1	必要時、ケース会議を実施しているがどの程度やるのが良いのか、詳しい人の意見が聞きたい。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	1	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0	1	HPIにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	3	2		実施できていない。必要時、考慮する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	2	オンライン利用しスタッフ会議や外部の研修に参加している。特に介護職の医療的ケアの研修は必須。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	2	保護者の意見も取り入れ、個々に合わせた計画作成に努めている	必要時、計画を変更している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	3	1	法人で作成したアセスメントツールを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	1	なるべくチームで立案を心掛けている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	1	季節に応じたプログラムを考え、今年からスイッチ遊びを取り入れるなどの工夫をしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	4	2	区分わけではなく体調等に応じて支援の実施を心掛けている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	2	実施している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	3	1	毎日ではないが、SNSやリモートなどを利用しなるべく打合せ、確認を行うように努力している。担当、役割などはスケジュールに記載されている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	3	リモートやL記録などを利用し、毎日は難しいが時間を見つけて振り返りを行うように努力している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	1	細かく記録をとっている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	2	2			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	3	2			

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	1	通所と居宅の様子を合わせて十分に知っているスタッフが参加するように努めている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	2	3	放課後のみの利用がないため未実施。学校行事予定などは確認している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11	1	1	個々の主治医、訪問看護ステーションなどでこまめにやり取りを実施している	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	2	2	必要時実施。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	1	2	移行例ないため実施未	今後、実施していくよう調整している。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3	2		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	5	2	以前はイベントで交流機会があったが、今年はなかった。	今後、法人全体として実施していきたい
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	5	3	参加していない	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	1	1	通所での出来事は連絡票に記入し、送迎時に保護者に話している。また、写真や動画などで共有している	法人の目標として親を育てる関わりをすることがあげられる。
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	5	1		
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	1	1	実施している	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	1	実施している	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	2	2	今年はコロナ感染防止のため困難であるが、通常はイベントなどで交流を深めてもらっている。必要時、スタッフが保護者間の橋渡しの役割をしていきたい。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	1	1		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	2	2	年1回の広報誌発行、HPの更新を随時行っている	
	35 個人情報に十分注意している	12	0	1		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	1	1	子どもたちの表情やしぐさなどで気持ちを読み取る工夫をしている。保護者には連絡票に細かく状況を記入している	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	2	1	今年は感染対策のため行っていない		

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	0	1	実施している。防犯マニュアルはない	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	3	1	年に1回実施している。また個々において日々シュミレーションしている	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	2	2		外部の研修などに参加していく
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2	2	身体拘束の必要性はない	身体拘束の必要がない
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	1	保護者からの情報を主に対応している	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	1	実施している	